

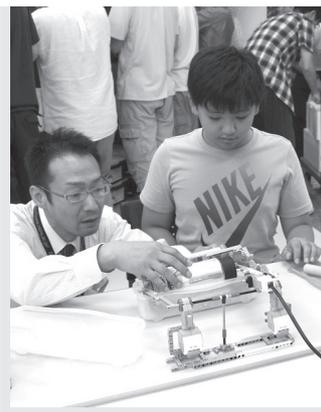
さらなる交流の絆を 手土産に帰国

8/17

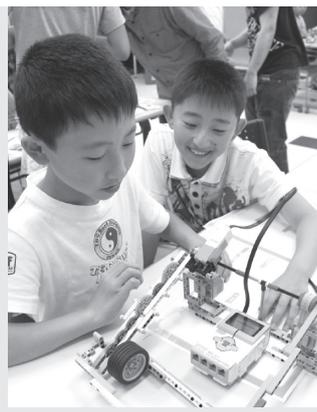
平成27年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団帰国挨拶
8月17日(月)、『平成27年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団』の帰国挨拶(市主催)を行いました。同交流団は8月7日(金)から14日(金)まで、デンマーク王国のファボー・ミッドフン市を訪れていました。

挨拶の席上、参加生徒たちは「ホストファミリーが食事などを気遣ってくれてうれしかった」、「日本から持参したお菓子が喜ばれた」、「思っていたより自分の英語が通じた」など、充実した交流の様子を語ってくれました。

同交流団の帰国報告会のご案内は、18ページ『くらしのガイド』に掲載しています。



▲レゴロボにアイスクリームの材料を入れた缶を取り付ける



▲組み立てたレゴロボを披露する子どもたち

夏休みの自由研究にぴったりの レゴロボでアイスクリームをつくらう

7/29

7月29日(水)、アニスで『レゴロボでアイスクリームをつくらう』(日本工学院北海道専門学校主催)が開催されました。

小・中学生12人が参加した同イベントは、子どもたちがレゴブロックを使った電動ロボット『レゴロボ』を組み立て、完成した『レゴロボ』を使ってアイスクリームを作るものです。

参加者の原隆翔くん(原佑介くん)と原佑介くん(青葉小学校5年生)は「レゴが大好きで参加しました。モーターを付けるところが難しくて苦戦したけれど、とても楽しかったです」と、出来上がったレゴロボをうれしそうに眺めていました。



▲たくさんの思い出を胸に帰国した生徒たち

選手との交流で子どもたちもにっこり

7/22
8/1

北海道日本ハムファイターズ北海道 179 市町村応援大使企画
『インターネット電話を使った児童との交流』・『夏休み親子応援観戦ツアー』



▲インターネット電話を使った交流では、両選手が映る画面に向かって子どもたちがエールを送った



▲『夏休み親子応援観戦ツアー』の記念撮影では、選手の膝の上に乗せてもらうサプライズも

7月22日(水)、幌別小学校で、2015年登別市応援大使の中島卓也・岡大海両選手と幌別小学校の全校児童が、インターネット電話を使い交流しました(市、市教育委員会、北海道日本ハムファイターズ共催)。

画面に選手が映ると、子どもたちはバッティングの秘訣を質問するなど、両選手との交流に心躍らせ、最後は全員で両選手の活躍と北海道日本ハムファイターズの優勝を願い大きな声でエールを送りました。

また、8月1日(土)に開催した『夏休み親子応援観戦ツアー』(市、北海道日本ハムファイターズ共催)には、抽選に当選した市内の小中学生とその保護者50組100人が参加し、選手の練習見学や中島卓也・岡大海両選手との記念撮影を行いました。

両選手と会うことを楽しみにしていた青葉小学校1年生の野崎紗永さんは「背が高くてかっこよかった」とにっこり。その後が始まった試合は4対2で北海道日本ハムファイターズが勝利し、富岸小学校6年生の白井陸弥くんは「逆転されそうになり少しヒヤヒヤしたけれど、勝って良かったです。試合を生で見ることでできて思い出になりました」と話してくれました。